

井草会報

2025
N0.58

発行 井草会
練馬区上石神井2-2-43
東京都立井草高等学校内

これからの同窓会委員会活動について

同窓会委員長 田村 光孝 31回生（昭和54年卒）E組

新型コロナウイルスの影響で2021年・2023年の「井草高校同窓会パーティ」は中止となり、一昨年の常任理事会では、当面パーティ形式の開催を見送る方針を決定したことは昨年の会報においてご報告した通りです。そして、2025年を迎え、記念学年（卒後30年世代・還暦世代・古希世代）を設定した形での同窓会パーティ開催を模索していましたが、対象学年の設定や参加者収容可能な会場確保など様々な観点から検討した結果、これまでのパーティ形式での開催を見直すこととしました。

その上で、同窓会委員会の役割としてまず果たすべきことは、「同窓が集まる機会作りを提供する」ことであり、このことを念頭に新しい形を模索していくこととしました。

昨年来、数多くのクラス会や同期会の開催が報告されて

おります。井草会として従来と変わらぬ絆を紡ぐ支援を行ってきました。引き続き、「クラス会等援助金制度」の活用や参加者集めのサポートなどを通じて、同窓生のネットワークを支えたいと考えています。

本年は、同窓会委員会で話し合いを重ねた結果、再会後の結びつき（絆）がさらに深まる機会となる令和7年に卒後30年世代となるクラス幹事に呼掛けを行いました。その結果、同期会としての開催にはなりますが理解と協力を得ることができました。盛会を祈念するとともに素晴らしい再会となるようしっかりとサポートしていきます。

中止とせざるを得なかった年の記念学年及び本年該当の一部記念学年の同窓の皆様には別の形で支援させていただきたいと思っています。

48回生
(1996年卒)
の皆さんへ

昭和52年・53年生まれ
(' 52. 4/2 ~ ' 53. 4/1)

みんな集まれ～！！

私たち48回生が平成8年（1996年）に井草高校を卒業して30年が経とうとしております。そこで30周年を迎えることを記念して、本年11月1日（土）に「1996年卒業同期会」を開催する運びとなりました。近況を報告、思い出話に花を咲かせながら楽しいひと時を過ごしませんか。ご多忙中とは存じますが、皆様お誘い合わせの上、ぜひご参加ください。

会場で皆様にお会いできるのを楽しみにしております。

同期会担当一同

2025年11月1日（土）
1996年卒業同期会
WEB招待状はこちら >>>



前列が幹事の皆さん。左から、末吉亜希子さん（E組）、田村晴子さん（E組）、牧野良子さん（B組）、横山なぎささん（B組）（後列は同窓会委員会の皆さん）

目次

同窓会委員会活動について/48回生の皆さんへ	1
2024年度 同期会・クラス会・OB/OG会報告	2～4
会員からの便り	5
OB・OGインタビュー（けらえいこさん）	6～7
新校長着任の挨拶/キャンパスニュース	8

創立50周年タイムカプセル開封式	9
母校への支援活動報告	10
幹事総会報告/援助金制度のご案内	11
井草会掲示板	12

2024年度 同期会・クラス会・OB/OG会 報告

※紙面の都合により一部原文を短く編集しています。
※卒年について「平成」以降は西暦で表示しています。



高校18回(昭和41年卒)同期会

2024年10月27日 マリOTT銀座東武ホテル

前回の古稀記念に続き、喜寿を記念して同期会を開くにあたり、幹事に連絡がつかないクラスもあり10クラス全てが揃う集いとはなりませんでした。何とか開催することができました。会場には何十年ぶりに再会した同期の仲間たちと手を取り合い、肩を組み合せて旧交を温め合う光景が広がりました。楽しそうな笑い声が響き、あちこちに笑顔の輪ができました。最後に流れた校歌に皆で声を合わせると、あの懐かしい井草のキャンパスが目の前にありありと蘇ったかのようでした！

同期会



高校34回(昭和57年卒)同期会 2024年6月22日 池袋グレースバリ

私たち34回は昨年と今年で還暦を迎えました。今回も国内各地や遠くは海外より一次会121名、二次会70名という多くの参加者が集いました。卒業から42年も経過しているのにも関わらず井草の仲間と再会すると高校時代に戻ってしまう感覚になるから不思議です。想像通り、いや想像以上に盛り上がり、夢のようなひと時を過ごしました。

高校35回(昭和58年卒)同期会

2024年11月4日 バトゥール東京

代表幹事のリーダーシップのもと、前回幹事の他に新たな幹事も加わり、会場と日程を決めてからは精力的に集客に取り組み結果的に一次会には170名近くの同期生が集まりました。当日はこの日のためのオープニング動画を大スクリーンに写してスタート、還暦をイメージして何か赤い物を身に付けてという幹事の提案で大勢の同期生が何かしらの赤いものを身に付け、にぎわいました。乾杯の音頭は多方面で活躍するN君が務め、続けて当日誕生日のM君がくす玉を割り、11月生まれの人達がクラッカーで盛り上げました。会場BGMは高校時代に誰もが聴いた懐かしい曲をセレクトしました。



クラス会



高校12回(昭和35年卒)D組

2025年1月22日 木曽路 新宿3丁目店

卒業してから約65年、喜寿、傘寿を記念してのクラス同窓会開催予定が新型コロナウイルス感染症禍により開催できず8年ぶりのクラス会となりました。中には14年振りに参加した級友も居り、年月の経過により、容姿の変化は避けられないものの直ぐに昔に戻り「話」に花が咲きました。



高校13回(昭和36年卒)D組

2024年12月2日 ホテルメトロポリタン池袋

数年ぶりでしたがすぐ打ち解けてそれぞれの貴重な体験談が聞けて、これからもうひと頑張りし、次回また元気にお会いしましょうと、名残惜しくお別れしました。



高校14回(昭和37年卒)E組

2024年5月25日

ホテルグランドアーク半蔵門

4年半ぶりに開催されたクラス会は、幹事の「傘寿」を祝いたいとの思いも強く大急ぎで進めた。出席者は、男性が元幹事長の中川氏、法学博士の町野氏等6名、女性が6名となった。乾杯に続き、長年ハーモニカでボランティア活動をしている平塚氏の伴奏で校歌をはじめ数曲を歌って楽しんだ。



高校15回(昭和38年卒)D組

2024年5月17日 新橋・新橋亭

参加者は16名で、15年ぶりに出席した方を含め元気かつ和気あいに懇談、懇親が進みました。今回出席できなかった級友からは葉書やメールが寄せられ、節目の会を一層盛り上げてくれました。閉会にあたっては、傘寿+アルファクラス会での再会を約し、変わらぬ井草の絆を確かめました。



高校17回(昭和40年卒)E組

2024年10月5日 上井草 AOYAGI

11時に上井草駅に集合し井草高校を見学した。土曜日であったが学校説明会があり大勢の保護者や生徒が来ていた。その後、AOYAGIに移動しクラス会となった。それでも思い出話に花が咲き、時間をオーバーしてしまった。



高校17回(昭和40年卒)F組

2024年5月18日 新宿ライオン安具楽

2019年以来、コロナ禍で5年越しのクラス会開催となりました。この5年というのは私達年代にとって非常に大きく、本人の体調変化、怪我、ご家族の世話等々なかなか思うようにはならず、男8名、女3名計11名の集まりとなりました。それでも懐かしい顔に会う事が出来、高校時代に戻れた楽しい時間でした。



高校18回(昭和41年卒)G組

2025年3月2日 アンリ・ファールブル

昔の懐かしい共通の話や、参加者1人3分程度で、現在の生活状況、健康・病気のこと、趣味活動、子供や孫自慢、等々を報告し合いました。

終了後は、今後のクラス会での再会を誓い合い、解散。一部の人達はカラオケの二次会に繰り出しました。



高校20回(昭和43年卒)G組

2024年10月16日 新所沢 俱司虎

場所は仲間が営む新所沢の小料理屋、俱司虎(くしとら)で開催。最初に残念ながら亡くなられた方々に黙祷を捧げ、会は進行。持ち寄った高校時代の写真に、忘れかけていたそれぞれの思い出を重ね合わせ、懐かしみ、近況報告に共感と称賛の拍手を送り大いに盛り上がり、あっという間の3時間半でした。



高校20回(昭和43年卒)H組

2025年2月7日 新宿 日本料理 三平

全員が後期高齢者の初心者となり13名が集まりました。思い出しやすいように卒業時の写真入り座席表を作り工夫したつもりですが、皆一目でわかったようでした。物故者4名へ黙祷を捧げた後、近況報告ではこの年代特有の不健康自慢?であっという間の2時間を過ごしました。



高校23回(昭和46年卒)F組

2024年10月17日 新宿 天津飯店

「天津飯店・新宿本店」の美味しい中華料理コースを堪能し、23名参加の大宴会になりました。全員の近況報告・欠席者(7名)の近況報告があり、71～72才になりましたが皆さん元気に過ごされている様子が分かり大変盛り上がりしました。



高校25回(昭和48年卒)E組

2024年10月12日 ライオン池袋西口店

古希、70歳のクラス会を池袋で開催しました。20名参加と今までにない参加者。コロナで開催できなかったせいも。次回は来年予定。皆さん自分の健康に不安、だから、生きているうちに会いたい。楽しかった。



高校27回(昭和50年卒)C組

2024年9月20日

KICHIRI Relax & DINE Esola 池袋

久しぶりの参加でも、すぐ打ち解けられるところは、同じ時間を過ごした仲間からですね。近況、親のこと、そして、懐かしい高校時代の話などで、あっという間の時間でした。



高校27回(昭和50年卒)D組

2024年10月5日 KITTE丸の内5階

ピッツェリア エトラットリア ダ・ボッチャーノ

まず乾杯をして、その後、一人ずつ近況を報告しました。ご家族の看護や介護に携わって居方のお話も聞かせていただき、皆それぞれ、人ごとではないと感じました。2時間のコースでしたがお店の方のご好意でランチの終了時刻の3時まで話すことができました。



高校27回(昭和50年卒)H組

2024年10月13日 中村橋 唐苑

20数年振りに、中国青島から帰国した藤井君の歓迎会をおこないました。中国での活躍の様子を聞きながら、なんと中華料理の会食でした。3時間弱では話足らず、二次会へ・・・話は尽きず次回は来春卒業50年、その次は古希と集まることを確認し、みな元気にまた会えるようにと散会しました。



高校30回(昭和53年卒)C組

2024年11月9日 橙や 小平南口店

2年前より級友のお墓参り～食事会の形式が恒例となり今回も小平駅に集合。そこにいる彼とひととき交流の時間を過ごしたあと会食のお店へ。それから近況を報告しながら賑やかな会話が止まらずやっぱり二次会へ。お店は今回も地元小平高校勤務の級友お勤めの町中華。11時に集合しお開きは夜7時でした。



高校32回(昭和55年卒)H組

2024年11月16日 湊一や日本橋八重洲店

近年は毎年開催していたクラス会もコロナの自粛期間を経て5年ぶり、還暦を迎えて初めての開催となりました。高校卒業から45年ぶり初参加の友も新たに加わり、定年退職後の仕事・趣味・家族・介護の話など空白期間を感じることなく盛大に盛り上がりました。



高校44回(1992年卒)A組

2024年8月10日 練馬展望レストラン

バルセロナオリンピック開催年に卒業した我々は、パリオリンピック開催中に、練馬区役所20階の展望レストランで旧歓を温めることができました。この夜は神宮外苑花火大会で、新宿高層ビル群の向こうに打ち上がる花火を級友16人で眺めることができ、真夏の夜のクラス会に花を添えました。

OB/OG会



山岳部OB/OG会

2024年7月27日 吉祥寺・梅の花

2019年に再開したOB会以来、コロナ禍の影響で中断していましたが、昨年から再び活気を取り戻した山岳部OB会。今年も、当時の顧問・室岡和彦先生をお迎えし、盛況のうちに開催されました。会場には、若かりし頃の思い出が詰まった写真や、ガリ版刷りの山行計画書などが持ち込まれ、参加者たちは当時の思い出話で盛り上がりしました。室岡先生は、今もなお現役の登山家です。2024年のネパール・トレッキングの計画があるとのことのお話に、参加者からは感嘆の声が沸き起こりました。



生物部OB/OG会

2024年9月8日

9月8日、井草祭にて生物部の展示を見学させていただきました。展示の中では、ムササビのぬいぐるみの飛行、様々なキノコの研究、プラナリアの再生のシミュレーション、どくだみを焙じたお茶、猫じゃらしを焙じたお茶、すっぽんの生態、などが印象に残りました。生物部を訪問した後、上石神井駅方面に向かい、卒業当時より住宅が増えている道を進み、近くのモロッコ料理「RAYAN RESTAURANT」で昼食をとりました。ゆっくりとした北アフリカ、モロッコの時の流れを感じることができる経験でした。



会員からの便り

～皆様から寄せられた
お便りをご紹介します～

<昭和39年卒 16回F組 村田 勝雄>

小島先生1年C組の皆様お元気ですか？7年程前に恩師とお食事しました！全員で三宝寺池に散歩に行き崖の様な所を降りる時、先生が「私の背中に」と言ってお松葉杖の可愛い女生徒を背負われて慎重に降りました！その時全員心がひとつになりお二人が無事に降りられる様に皆でお守りしました！私涙がいっぱいでした！清らかで優しい女性と男心があるいい奴！先生覚えていました。私は今でも心優しき皆様全員青春の彼女と親友です！

<昭和42年卒 19回C組 沓内 実>

転勤族で最後は宮崎市民になって20年目、今でも宮崎市役所で臨時職員として働いています。我が家の愛娘のために一軒家に引っ越しました。そのおかげで、立派な警察犬になり、可愛い子供も生んで警察犬協会に貢献していますよ！まだまだ愛妻&愛娘のためにも頑張りますよ～!!

<昭和52年卒 29回E組 藤川（鈴木）敦子>

20代の頃、実家が練馬区から三鷹市に移り住み、現在はJR三鷹駅北口近くでインポート中心のセレク

トショップを2店舗「SAKURA+（サクラタス）、SAKURA」を営んでいます。バザールのように楽しい店内には、世界中から厳選したインテリア雑貨や衣類が並び、幅広い年齢層のお客様に「癒されて楽しく元気になるお店」と喜ばれています。国分寺での創業後、吉祥寺、三鷹と3店舗経営の時期もありましたが、両親の介護も考え三鷹に集約。店舗経営以前に雑誌「オレンジページ」の創刊から約6年、編集に携わった経験が今の仕事の基盤となっています。お客様との対面を大切に日々精進を重ねながら、オリジナル商品開発やSNS発信にも力を入れ、より個性を活かした店舗づくりを楽しんでいます。

HP：<https://sakuratus.press.ne.jp> Instagram：sakura_tus_

<昭和54年卒 31回I組 平木 篤>

同窓会委員長の田村 光孝31回生の投稿を見ました。我々は65歳の第二の区切りの年齢を迎える世代です。コロナに罹患した人も多かったでしょう。私も最近かかりました。歴史に残るコロナウイルスを乗り切った！みんなの安否確認をしたいと思います。田村、ありがとう！PayPayで年会費を払うことができました。チョコザップにいかねば^_^



海外から

<昭和58年卒 35回E組

榎本（鈴木）雅子>

バブル期の1989年4月、北ドイツのリュネブルグという小さな町が6年間のドイツ生活の始まりでした。中世塩の産地として繁栄した古いレンガ造りの家並みや建物に圧倒されつつ、当時の冷戦の影響を感じていました。1989年11月9日のベルリンの壁崩壊後、旧東ドイツ地域を訪れることができ、西と東の生活の違いに驚きました。

1990年10月の東西ドイツ統一から30年が経ちましたが、未だに経済格差は残っています。

現在は2023年4月からフランクフルトに住んでおり、街ゆく人を見てドイツの多様化した社会や多文化共生について日々考えさせられています。ドイツでは、犬が職場やデパート、レストランにも一緒に連れて行ける環境が整っており、愛犬と一緒に過ごすのが日常です。しかし、ペット税がかかるのがちょっとした驚きでした。また、ドイツのクラシックコンサートはとても手頃な価格で楽しめます。日曜日はお店が休業するため、家でゆっくり過ごすのが定番で、これもまたドイツの魅力の一つです。



OB・OG インタビュー

けら えいこ (本名 ^{うえだ} 上田 ^{けらかわうち} (蛸川内) ^{えいこ} 栄子) さん

33回生 (昭和56年卒) | 組 漫画家



けらえいこさんは、井草高校の漫画研究会 (現在の漫画研究部) 出身の漫画家。代表作「あたしんち」はテレビアニメ化されるなど幅広い世代に愛されています。漫研一色の高校時代の思い出や漫画家を目指す道のり、プロとして活動する上でご自身が大切にしてきたことなどを懐かしい井草高校の教室でお話いただきました。聞き手は漫画研究部部長の秋元優香さん (高2)、副部長の右田梨桜さん (高2) 他の皆さんです。

ーこれまでのお仕事について教えてくださいー

30才の時からずっと「あたしんち」ひとすじです。今は、朝日新聞出版の週刊誌『AERA』で連載をしています。

「あたしんち」は最初、読売新聞日曜版の連載でしたが、東日本大震災のあとくらいでヘトヘトになって、いったん連載が終了になってしまいました。自分で終わりにしたんですけど、ものすごく残念でした。その後は7年くらいブラブラして、何をしていたかという、ちょうどその時期、世の中が激変して、みんながスマホを持つようになったんです。私もネットの勉強をしたり、デジタルで絵を描く練習をしていました。「あたしんち」はもう描かないつもりだったんですけど、ネットに浸っているうちに、若い「あたしんち」ファンがたくさん生まれていることに気づいたんです。好意的な感想が多くて、ものすごい衝撃でした。「あたしんち」は、実は夫婦2

人の共同作品なんですけど、2人で喜んで、また描こうか! という話になりました。現金です (笑)。たまたまそのタイミングでご縁のあった朝日新聞出版さんの『AERA』で「あたしんち」を再開。

アニメは、新聞連載スタートからしばらくして始まりました。ダンナが加わってくれたのもこの頃。

アニメ「あたしんち」が大変だったのは、ぜんぶの話を、倍ちかく伸ばさなきゃならなかったこと。テレビ番組では8分くらいのエピソードを2本流しますが、「あたしんち」はアニメにすると1本3～4分程度にしかならない。2倍に伸ばすのはもの凄く大変なことです。

すべての話、ぜんぶ、何回も何回も会議してるんですよ。出版社からも担当編集者さん、編集長さんまで出席していただき、シンエイ動画 (アニメーション制作会社) のスタッフさん合わせて8～10人くらいで、毎週、毎回、何時間も、7年以上会議を続けました。これが想像を超える大変さでした。私は早々に降参して、オットにバトンタッチ、オットも数年しか参加できなかったくらい過酷。

おかげさまで視聴率は良かったんですけど、2009年、世の中の景気が一気に悪くなった年、アニメ終了。

10年後の2019年、私が復活したのと同じタイミングで、シンエイ動画さんがYouTubeでアニメ配信を始めました (YouTube【アニメ】あたしんち公式チャンネル)。再放送をYouTubeでやるような感じが。2年くらいで登録者数が100万人を超えて、うちもシンエイ動画さんもビックリ。本当にありがた



校門脇の八重桜を背景に 左から漫研部副部長の右田さん、けらさん、部長の秋元さん

いです。ご恩返しじゃないですけど、去年は新作が作られました。うちも協力しました。

ー井草高校時代にはどのような思い出がありますか？ その頃から漫画家を目指していたのですか？

井草の思い出はやっぱり漫研。クラスでは、みんなが早弁していたことをよく思い出します（笑）。

漫研では、小学館『ちゃお』で今も連載中の「こっちむいて！みい子」のおのえりこ先生、「ハゲしいな！桜井くん」で有名になった高倉あつこ先生、が同期でした。

おの先生は在学中に『月刊マーガレット』へ作品を応募して、高校生デビューを果たしました。すぐ担当もついて、プロとして活動していて、隣で見てて眩しかった。それが間違いなく、私が漫画家になったきっかけです。おの先生に出会ってなかったら漫画家になってないですね。漫研の活動も、みんなしっかり漫画を描いてたし、夏合宿で長野の山に登ったりもして、楽しかった。



漫研部の皆さんと桜の木の下で 右から4番目がけらさん、
左が顧問の中平枝里子先生

高校生デビューといえば、私が1年生の時、3年生に新井素子さん（手嶋（新井）素子さん 31回生）がいらして、新井さんも「第1回奇想天外SF新人賞」に入賞して、SF作家としてプロ活動をスタートされたんですよ。当時はSFブームだったので、学校をあげての大騒ぎになりました。当時の井草生で、新井さんのデビュー本を買わなかった人はいなかったんじゃないかな？私も何かやりたい！という気持ちになったんですよ。でも、私はその後もずっと、これといった作品が描けなくて、30才近くまでモヤモヤしてました。それでもがんばって続けられたのは、高校時代に受けた、刺激というか、火種というか、希望というか・・・。そういう感動は、一生の宝物だと思いました。

ー漫画家になるために必要なものとは

当時、プロになるには、コミック誌へ応募してデビューする、というのが本道だったんです。

私も高2から10年くらい、投稿や持ち込みをしてたんですけど、まったくダメでした。なのでそれは完全にあきらめて、「来た仕事をやる」ことに集中。結婚して主婦になっても、依頼されたものを描くだけ。似顔絵屋さんを頼まれて、地方へ行ったりもしました。それが良かったみたいです。情報誌でカットを描いていたら、単行本の描き下ろしを依頼されたり（「セキララ結婚生活」）、それを見た読売新聞社さんから、「あたしんち」の連載を依頼されたりしました。

それで、マンガ家になるのに必要なものは、才能よりも「運と縁」だと思いました。

あと今振り返って思うのは「サービス精神」が大事かもしれない。あとは「行動・持続」。

プロになって、知り合いのマンガ家さんたちを見ると、とにかくサービス精神がすごい。

マンガに限らず、たぶんどの仕事でも、相手の喜びがなにより、と思えるマインドは大事かもしれない。

大学の時に先輩から「依頼者の期待をちょっとだけ越えていればずっと仕事をもらえるよ」と言われたんですが、そこだけ注意していたら本当に食べっぱぐれなかった。

やってみたいことはとりあえず10年やってみると、失敗しても血肉になるよ、というのも、別の先輩から教わって、ほんとだーと思ったことです。なのでここで言っときます。



キャンパスニュース

着任のご挨拶

第25代校長 瀧本 秀人

4月1日付で校長に着任いたしました瀧本秀人です。20年前に都立石神井高等学校に教員として勤務していましたので、この地がとても懐かしいです。



着任早々に感銘を受けたのが、生徒の私服です。20年前の石神井高校も私服の学校でしたが、私が去った後、制服が導入されています。制服を導入しないと学校経営が立

ち行かなくなるという考えから、多くの学校で制服が導入されました。しかし、井草では時代の潮流に押し流されることなく、20年前を維持し続けているのです。この20年間の卒業生のみなさんの不断の努力に敬意を払わずにはいられません。

そして、これを継承していけるかどうかは現在在籍している生徒たちにかかっています。「自主・自律」先生方が生徒のみなさんに繰り返し語っている言葉がとても印象的です。自分を知り、自分の可能性を考え、自分らしく自由な心で生きるために日々挑戦していく。そんな井草生とともに歩んで行きたいと思います。

自主・自由・自律 “igusa 夢 project”

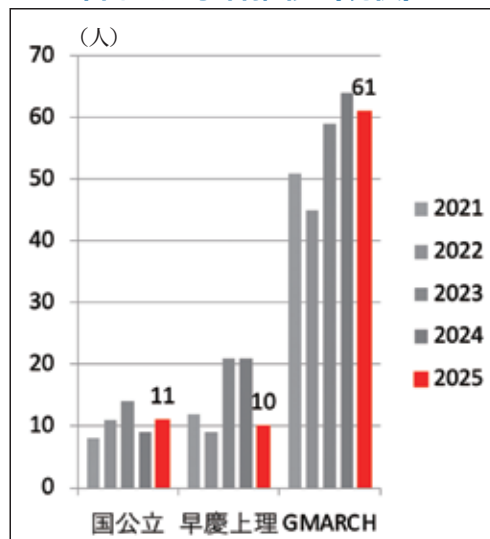
井草高校 進路指導部 山田 憲永

井草会の皆様、いつも応援ありがとうございます。昨年度の大学入試状況についてお伝えします。

昨年度の入試では、国立大現役合格者数は、13名で進学者は11名でした。私立大現役合格者数は、早慶上理で19名(早稲田10名、慶応義塾1名、上智1名、東京理科7名)、進学者は合計10名、GMARCHで143名(学習院13名、明治30名、青山学院15名、立教30名、中央20名、法政35名)、進学者は合計61名となりました。GMARCHに関して、合格者数は一昨年度よりも減少しましたが、進学者数はほぼ同数でした(一昨年度は合計64名が進学)。

今後、大学入試は大きく変化することが予想されます。そのため、井草高校が取り組んでいる進路指導、高校卒業10年後の自分をイメージすることがとても重要になってきます。そのためには、大学に合格することだけを考えるのではなく、大学を卒業した後、自分がどの道を進むのかも考え、逆算する力を身に付けなければなりません。これからも井草高校の後輩たちへの応援をよろしくお願いいたします。

■5年間の進学者推移（現役）



■2025年入試合格状況（推薦入学を含む現役合格者数）

国立大学		慶応義塾大	1	東海大	1	東京家政大	5	昭和薬科大	1
北見工大	1	上智大	1	亜細亜大	11	明星大	5	神奈川大	1
室蘭工大	1	東京理科大	7	帝京大	4	杏林大	4	人間総合科学大	1
岩手大	1	学習院大	13	国士舘大	10	実践女子大	4	川崎医療福祉大	1
東北大	1	明治大	30	日本女子大	11	昭和女子大	4	帝京平成大	1
東京学芸大	4	青山学院大	15	東京女子大	1	東京経済大	4	東京慈恵会医科大	1
信州大	1	立教大	30	津田塾大	3	東京工科大	4	東京女子医科大	1
和歌山大	1	中央大	20	芝浦工業大	5	大妻女子大	3	東京造形大	1
公立大学		法政大	35	工学院大	2	桜美林大	2	東京農業大	1
埼玉県立大	1	成蹊大	27	東京電機大	3	順天堂大	2	文教大	1
東京都立大	1	成城大	6	東京都市大	1	神田外語大	2	目白大	1
愛知県立大	1	武蔵大	9	武蔵野大	16	拓殖大	2	立命館大	1
文科省所管外の大学校		國學院大	14	武蔵野美術大	12	東京工芸大	2	共立女短	1
防衛医科大学校	1	明治学院大	6	獨協大	10	東京国際大	2	桐朋学園芸術短	1
国立看護大学校	2	日本大	52	東京医療保健大	9	日本体育大	2	Maastricht University	1
職業能開大学校	1	東洋大	86	多摩美術大	7	北里大	2		
北海道職能大学	1	駒澤大	24	共立女子大	6	明治薬科大	2		
私立大学		専修大	22	玉川大	6	学習院女子大	1		
早稲田大	10	大東文化大	6	立正大	6	産業能率大	1		

井草高校創立50周年タイムカプセル開封式

ー44回生が掘った！『井草・夢・玉手箱』ー 井草会会長 鎌形 香代子 27回生（昭和50年卒）F組

令和6年（2024年）11月9日土曜日、平成3年（1991年）12月に「井草高校創立50周年式典行事」の一環として正門右手花壇に埋設したタイムカプセル「井草・夢・玉手箱」を、33年の時を経て開封しました。当時のPTA活動として現役生、OB/OG、職員、保護者よりメッセージを募集しプラケース2つに詰め、コンクリートの外枠に入れ埋めたものです。

粕谷校長、金子副校長を始めとした職員の皆様、現役生徒会の面々、当時のPTA会長の山崎様他役員の皆様、埋設を指揮された松澤先生、開封式を主催した現井草高校PTAの皆様、井草会役員理事、そして埋設当時3年生だった44回生約50名が一堂に会し賑やかなイベントとなりました。重機なしの人力掘り起こしにあたり現役生徒会の皆様のご協力も得て、何より44回生の諦めない根性と体力で一旦は断念と思われましたが、コンクリートの重い蓋をみごと開封、プラケース2個を発掘しました。

残念ながら雨や泥の侵入で紙類は劣化しておりましたが、それでも思い出の欠片を摘み取るよう歓声を上

げ井草時代を偲んで笑顔で語らう44回生の姿に、44回生への連絡担当として井草会が協力できたことをうれしく感じました。44回生はこのイベントを機に同期会のネットワーク作りをスタートしたようで、井草会としての役目を果たせたのではないかと思います。



掘り出しに参加された皆さん（右端は松澤亮先生）

ー創立50周年を巡る思い出ー 松澤 亮先生（昭和62年～平成10年、数学） 吹奏楽部顧問

井草高校には11年間お世話になりました。穏やかで温かみがあり何事にも真摯に取り組む感じで、いい学校に来たものだと感じた。それでいて平凡でなく、「井草祭」「体育祭」「クラブ活動」などそれぞれにパワフルに取り組む姿は美しかった。

井草高校の11年間ののちに定年退職となり教師生活の一区切りとなったので、思い出は沢山ある。その中から二つほど書いてみた。

平成3年（1991年）には井草高校創立50周年を迎え、その担当となり10月12日練馬文化センターでの「創立五十周年記念式典」「記念演奏会」そして「五十周年記念誌」、テレフォンカード、タイムカプセル作成など忙しい年だった。

タイムカプセルは記念行事の最後のイベントとして、校門入ってすぐ右手に、12月14日に多くの関係者に見守られるなか深く埋め込まれ、その上には記念碑「井草・夢・玉手箱」の石碑が建てられた。これは30年後の井草高校や広く日本に心を馳せて、生徒の思いや当時の生活の様子などがわかる紙面、冊子などを入れた。そのことを記録した紙面等は額に入れて、校長室の歴代校長の顔写真の下に掛けておいた。

その後30年経過したが何の情報もなく、令和4年（2022年）7月、当時のPTA会長であった山崎様と井草高校を訪ねタイムカプセルのことを尋ねたが、タイム

カプセルの額も歴代校長先生の顔写真もなく、粕谷校長には何も伝わっていなかった。30年とは長い年月だとつくづく感じた。

その後粕谷校長のご努力もあり令和6年（2024年）11月9日タイムカプセルを開くことができ嬉しかった。（この様子は上記記事）

クラブ活動では吹奏楽部の顧問をしていた。平成10年（1998年）3月の定期演奏会で、私の退職を祝ってくれることになり、練馬文化センターの小ホールで、部員と多数のOBの伴奏で、私が「エーデルワイス」を歌い、多くの生徒や先生方に送られ、花束を頂いたことは忘れられない。



タイムカプセルの作業の当時の様子（左端は松澤先生）

母校への支援活動報告

～特別資金からの「部活動特別助成金」支出施行に伴い、生徒との交流会が行われました～

2024年10月2日「部活動特別助成金」が運用開始されたことを受け、学校にて生徒との交流会が行われました。「部活動特別助成金」は昨年度総会にて承認された新たな在校生への支援です。支援を行うにあたり、井草会活動が身近に感じられる機会を設けていただくよう学校に申し入れし実現しました。

●部活動特別助成金運用開始までの経緯

1981年に老朽化した旧同窓会会館の取り壊しに伴い、井草会の新拠点となる事務所の開設を目指して、1994年から2010年に渡り「事務所開設準備金（2022年度定時幹事総会で「特別資金」へ科目変更）を積み立ててきました。2023年12月に、この資金の内600万円について、現役生の約7割が所属する部活動を日常的に広く支援し、充実した井草生時代が送れるよう、また井草会が現役生にとり身近な支援組織であると認識してもらうために、「部活動特別助成金」として支援することが、2024年5月25日の井草会定時幹事総会で承認され、2024年10月2日に「部活動特別助成金」が運用開始されました。

【部活動特別助成金の内容】

現役高校生の部活動に対して、2024年度より、年間50万円の財政支援を2035年度までの12年間に渡り、計600万円を継続的に支援する。

●「交流会」開催への想い

部活動特別助成金の支援にあたっては、定時幹事総会においても、「単に助成金という形で学校に資金を提供するのではなく、教育的な視点を踏まえ、部活動に参加する生徒自身が主体となって考えるなども検討すべきでは」「財政支援期間の12年間以降は井草会としても支援継続が難しい状況となることを踏まえ、学校側として今後も継続的な部活動費用の財源確保への努力を惜しまず続けて頂きたい旨を、この特別助成金支援にあたり、併せて学校側へ申し入れるべきでは」など、活発な議論がなされ、この特別助成金支援にあたり、併せて学校側へ申し入れを行いました。

【井草会より母校への具体的な申し入れ内容】

1.「部活動特別助成金」支援期間並びに支援期間以降についても学校側も部活動資金確保の永続的努力を続けること

2.「部活動特別助成金」の対象となる部活所属の生徒と井草会とがコミュニケーションをとり、井草会活動を身近に感じられる機会を設けること

今回の「交流会」の開催は、このような経緯を経て、井草会と学校側との協議の上で開催されました。

●今年度の「部活動特別助成金」の内容

今年度の「部活動特別助成金」は夏休みの合宿の施設利用料と弓道部のインターハイ出場費用の助成に充てられました。



●「交流会」の様子

交流会は校長、副校長、助成金を受けた男女バスケットボール部・サッカー部・弓道部・書道部の顧問と代表、井草会からは会長ほか7人が参加しました。校長、副校長より「部活動特別助成金」開始の経緯説明があり、その後生徒よりそれぞれの部の実績と今後の意気込みが発表され、井草会からは昔話や部活動の詳細などの質問をしました。終始明るい雰囲気の中、熱意ある生徒の発言に、さらなるエールを送りたくなったひとときでした。



2025年度定時幹事総会報告

5月17日（土）、2025年度定時幹事総会が母校視聴覚室にて開催されました。当日は幹事52名の出席（＋委任状253名）により必要定足数50名を満たし、総会が成立しました。

来賓として瀧本秀人校長先生、金子敬太副校長先生、中尾眞砂美PTA会長にご臨席いただき、それぞれの方々より母校支援に対する感謝の言葉と今後も協力をお願いしたいとのご挨拶がありました。

議案書に基づいて2024年度の各委員会事業報告・決算報告・監査報告があり、続いて審議承認事項として2025年度の事業計画案・予算案・新規役員就任及び異動案が審議され、いずれも賛成多数で承認可決となりました。その後も同窓会活動の今後の課題などについて活発な意見や提案が交わされましたが、今回初めて井草会の総会に出席された方々より寄せられた感想がとても新鮮でした。

今年度より同窓会委員会理事に那須久美子さん（38回H）が、同窓会委員会の援助金担当として常任理事に古池頼子さん（38回H）が就任いたしました。また、中井淑子さん（7回C）が会報委員会並びに事務局委員会を退任し、会計監査に就任いたしました。どうぞよろしくお願いいたします。

井草会援助金制度のご案内

井草会では、同期会、クラス会、OB・OG会等の開催に対して援助金制度を設けています。この制度は井草会の事業の一環であり、会員の年会費によって賄われています。

【利用条件】 援助金は、30名以上の同期会、10名以上のクラス会やOB・OG会に対して給付されます。

【援助額】 千円／人で、クラス会は3万円、その他の会は5万円を上限とし、年に1回限りの利用となります。※2年連続の利用はできません。

【手続】 井草会ホームページの援助金事前申請フォームに必要事項を入力し（下記URLまたは二次元バーコード）、**必ず開催日の2週間前までに申請してください。**

<https://www.igusakai.org/enjokin/>



※事務手続きの都合上、郵送による事前申請は終了いたしました。受け付け確認後、担当者よりその後の手続きの詳細をお知らせいたします。

2024年度決算・2025年度予算

2025年3月31日現在

収 入

（単位：円）

項 目	2024年度予算	2024年度実績	2025年度予算
繰越金	4,106,690	4,106,690	4,689,244
入会金	1,056,000	1,056,000	1,088,000
会費	2,600,000	2,746,000	2,600,000
寄付	600,000	770,000	600,000
部活特別助成金	500,000	500,000	500,000
雑収入	100	4,142	100
合 計	8,862,790	9,182,832	9,477,344

支 出

項 目	2024年度予算	2024年度実績	2025年度予算
会報委員会	2,970,000	2,765,649	3,130,000
会報通信費	1,270,000	1,236,323	1,430,000
会報印刷費	650,000	629,442	650,000
その他	950,000	872,594	950,000
委員会活動費	100,000	27,290	100,000
同窓会委員会	550,000	320,538	600,000
クラス会等援助金	500,000	307,000	500,000
委員会活動費	50,000	13,538	100,000
インターネット委員会	100,000	9,591	100,000
事務局	1,500,000	1,391,090	1,500,000
委員会活動費	400,000	327,941	400,000
井草高校助成金	300,000	300,000	300,000
部活特別助成金	500,000	500,000	500,000
年会費振込手数料	300,000	263,149	300,000
会 計	20,000	6,720	20,000
予備費	3,722,790	0	4,127,344
支出合計	8,862,790	4,493,588	9,477,344
繰越金	0	4,689,244	0

財産目録

2025年5月17日現在（単位：円）

特別資金	14,500,000
（事務所開設準備金科目名変更実施）	
母校支援特別資金（からまつ山荘閉荘資金）	800,000
（2021年度繰越金から資産計上に振替）	
資産計上計	15,300,000



井草会掲示板

■ 年会費・寄付の納入方法

井草会は会員の方々の年会費（2,000円）で運営しています。同封の払込用紙以外でも納入できます。年会費以外に寄付も受け付けておりますので、ご協力をお願いします。

◆スマートフォンアプリからも払い込みができます。決済額はコンビニ払い同様、払込用紙に印字されている金額のみのお支払いとなります。

◆払込用紙での納入（郵便局） ※コンビニも可

井草会報に同封の払込用紙では郵便振替とコンビニエンスストアでの払い込みができ、いずれも払込手数料は不要です。

◆郵便振替

東京00120-4-84359 井草会

◆一般金融機関から振り込み（ネットバンク使用可）

一般の金融機関、ネットバンク等から振り込まれる場合は下記の口座をお願いします。振込手数料はご負担ください。

銀行名	ゆうちょ銀行
店名	〇一九店（ゼロイチキユウ店）
口座種目	当座
口座番号	0084359
口座名	イグサカイ
年会費	2,000円 ※2,000円を超えた金額は寄付
振込(依頼)人名	卒回または卒年組氏名(旧姓)
※例：38C イグサハナコ（ヤマダ） 1986C イグサハナコ（ヤマダ）	

◆寄付・その他

井草会報に同封の年会費払込用紙の金額を修正して郵便振替、または一般金融機関から振り込みができます。ただしコンビニエンスストアでの寄付納入はできませんのでご注意ください。

恩師の訃報

長谷川 義晃 先生（昭和60年～平成6年、社会）



編集後記

新しい部活特別助成金制度そして今号のけらえいこさんのインタビューでも現役生の皆さんと井草会との交流の場面が多くなってきました。現役生と一緒に井草高校を盛り上げるっていいですね。

井草会事務局

〒177-0044 練馬区上石神井2-2-43 井草高校内
ホームページ：https://www.igusakai.org

※お問合せはホームページからお願いいたします。

■ 2024年度一般寄付金寄付者名簿

2025年3月31日現在

下記の方々から貴重なご寄付をいただきました。有効に使わせていただきます。ありがとうございました。

高女1	田嶋 敏枝	6	高校29	塚田 則彦	10
高校3	田中 宏子	4	高校30	青木 章	1
高校4	河上 喜美江	8		大場 肇	3
高校6	遠矢 良隆	2		沖田 芳弘	3
高校7	渡辺 きさ子	10		辻田 洋一	3
高校8	前島 一夫	8	高校31	藤吉 和彦	2
	高校8回B芳友会	62		今村 保雄	10
高校12	中林 保彦	3		滝川 直	10
	尾崎 政雄	3		小林 喜久子	3
高校13	渡辺 しづ子	3		藤野 哲也	5
	富岡 和子	8		阿部 恵	1
	松本 敏子	8		長沢 幸子	10
	小松 愛子	3		増田 一穂	100
高校14	林 健一	8	高校32	菅野 隆登志	10
	岸本 清見	5		藤川 由美	1
	原 京	8		松浦 昭浩	3
高校15	川添 洋子	3		小原 健嗣	3
	矢野 征男	10		保坂 幸夫	3
	堺 公子	3	高校33	山本 茂	3
	中村 幸子	3		池浜 祐二	2
高校16	村田 勝雄	2		鈴木 毅彦	6
	小島 弘	2		長尾 一明	3
	溝口 和子	3		近藤 真哉	1
高校18	貴志 長成	3		安達 亜紀	10
	郡司 明郎	10		中村 一郎	3
	塩谷 幸彦	3	高校34	島田 隆司	3
	千葉 優子	3		高野 郁人	1
高校19	岡本 由紀子	3		飯塚 雅哉	8
	高橋 勉	3		本郷 茂	8
高校20	野崎 暁	3	高校35	小川 佳枝	3
	川野 雅資	3		樋口 貴紀	10
	石川 和重	3		石塚 由記子	3
	出井 喜一	8		千葉 知栄子	8
高校21	植木 謙	8	高校36	篠 憲治	3
	遊佐 暁彦	3	高校37	山本 隆一	18
	内田 成信	1		市原 毅	10
	宮本 静代	10	高校38	茂木 祥子	3
高校22	近藤 小百合	3		那須 久美子	3
	戸倉 賢二	3		小原 久	30
高校23	山下 昭夫	8		相田 智成	3
	重松 明夫	1		古池 頼子	3
	守村 卓	10	高校40	満川 元貞	1
	田中 隆枝	10		高橋 輝	2
高校24	金村 宏吉	8	高校41	匿名 希望	3
	宮島 恵子	8		岡澤 周子	3
高校25	村上 俊雄	3	高校44	金子 まなみ	4
	泉 学	1		益子 晴子	3
高校26	橋本 宏樹	10	高校45	サンタフエ	1
	大谷 哲	3	高校47	宮川 伸一	8
	岡田 雄一郎	3		小金 平朝子	8
	五十嵐 宏	3		中島 浩樹	3
	杉野 俊哉	1	高校49	吉田 寛徹	3
	金子 守	1		米川 輝	2
高校27	吉沢 光人	8	高校51	葛城 英彦	3
	五味 乃里子	3	高校67	ミヤノハラ将哉	3
	町田 秀彦	50	高校70	染谷 崇	2
	仰木 朗	3	高校71	江尻 翔	3
	山口 千鶴子	3	高校73	関根 悠里子	10

（敬称略、単位：千円）

寄付者数：116名 770,000円

編集委員：西田 實(17B) 中村 啓子(18E) 日野 純子(24H) 出野 由美子(35A) 高田 佳穂里(35B) 本間 潤(35D)
新妻 成一(35F) 高橋 一介(37B)